

2018年10月26日

各位

オリックス株式会社  
(コード番号: 8591)

## 2019年3月期 第2四半期連結決算 当期純利益は1,550億円、通期配当性向を30%へ引き上げ

2019年3月期第2四半期(2018年4月1日～2018年9月30日)の米国会計基準連結決算において、営業収益は前年同期比17%減の12,620億円、税引前当期純利益は同13%減の2,209億円、当期純利益は同7%減の1,550億円となりました。

当第2四半期の当期純利益は、国内投資先の株式売却益の減少や海外関連会社の損失を計上したことにより前年同期比で減少しましたが、今年度からの中期経営目標である「当期純利益の年間成長率4～8%」の達成に向けて、堅調に進捗しました。ROEは中期経営目標の11%を上回る11.3%となりました。

また、通期配当性向の目安を27%から30%へ引き上げ、通期の1株当たり配当予想額は76円とします。

### ■ 主な経営指標の推移

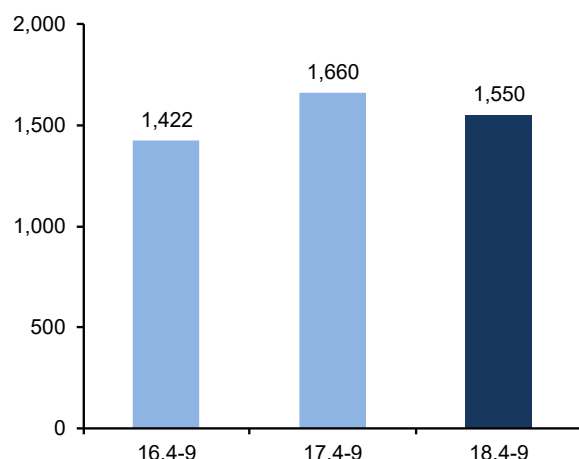
	2017. 4-9	2018. 4-9	増減率
営業収益	15,178 億円	12,620 億円	▲17%
税引前当期純利益	2,526 億円	2,209 億円	▲13%
当期純利益 ※	1,660 億円	1,550 億円	▲7%
株主資本当期純利益率 (ROE: 年換算) ※	13.0%	11.3%	—

	2018. 3	2018. 9	増減率
総資産	114,260 億円	117,785 億円	3%
セグメント資産	90,989 億円	96,205 億円	6%
株主資本 ※	26,824 億円	28,040 億円	5%
株主資本比率 ※	23.5%	23.8%	—

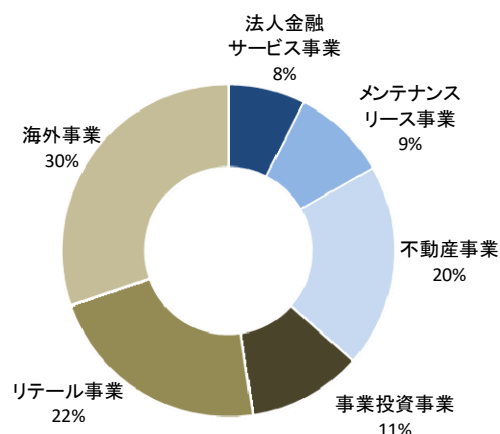
※「当期純利益」「株主資本」は、決算短信などの財務諸表に記載している「当社株主に帰属する四半期純利益」「当社株主資本合計」を記載しています。「株主資本当期純利益率(ROE: 年換算)」「株主資本比率」は、当該株主資本合計を用いて算出しています。

### 『当期純利益の推移』

(単位: 億円)



### 『当第2四半期のセグメント利益内訳』

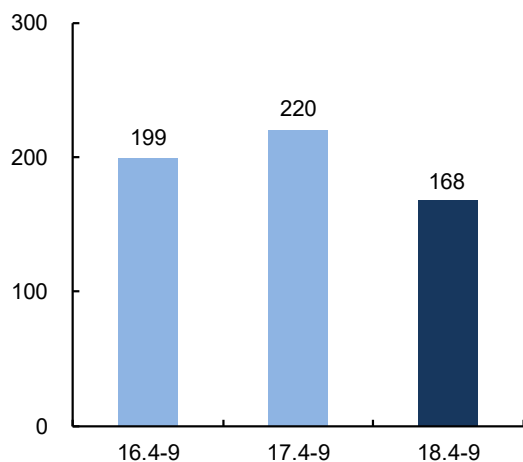


## ■ 各セグメントの業績概要（2018年4月1日～2018年9月30日）

### 【法人金融サービス事業部門】

融資、リース、各種手数料ビジネス

<セグメント利益> (単位：億円)

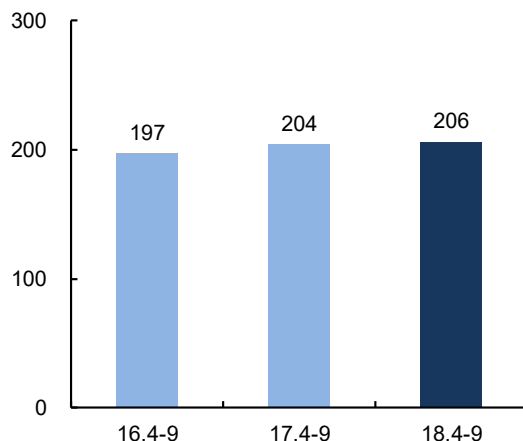


- ・リース資産や営業貸付金の減少に伴い金融収益が低下したものの、各種手数料ビジネスによるサービス収入が増加。
- ・前年同期は、関連会社株式および有価証券の売却益を計上。
- ・セグメント利益は、前年同期比 24%減の 168 億円を計上。

### 【メンテナンスリース事業部門】

自動車リース、レンタカー、カーシェアリング、電子計測器・IT関連機器などのレンタルおよびリース

<セグメント利益> (単位：億円)

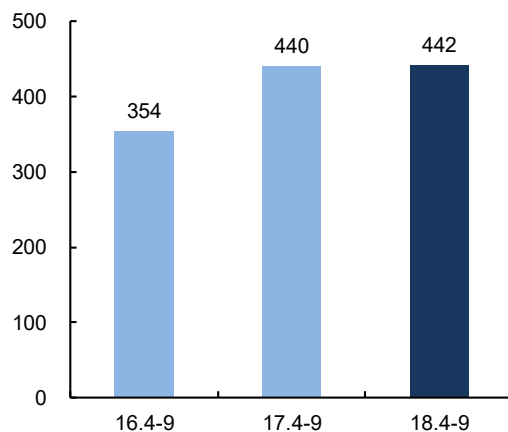


- ・自動車事業のリース資産が順調に拡大。
- ・IT機器や測定器などのレンタル事業の収益が増加。
- ・セグメント利益は、前年同期比 1%増の 206 億円を計上。

### 【不動産事業部門】

不動産開発・賃貸、施設運営、不動産投資法人 (REIT) の資産運用・管理、不動産投資顧問

<セグメント利益> (単位：億円)



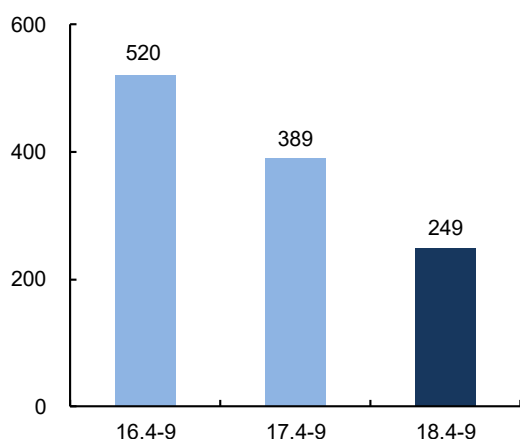
- ・引き続き活況な不動産市況を捉え、前年同期並みの不動産売却益を計上。
- ・沖縄や大阪、京都で新たにホテルを開業。
- ・セグメント利益は、前年同期と同水準の 442 億円を計上。

## 【事業投資事業部門】

環境エネルギー、プリンシパル・インベストメント、サービサー（債権回収）、コンセッション

<セグメント利益>

(単位：億円)



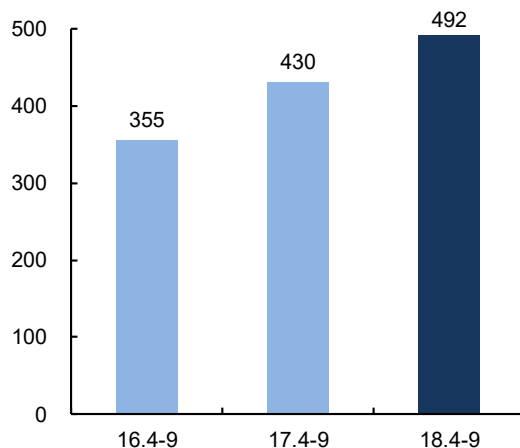
- ・前年同期に比べて、投資先の株式売却益や取込損益が減少したことにより、利益が減少。
- ・建設中のメガソーラーが順次稼働を開始。
- ・セグメント利益は、前年同期比 36%減の 249 億円を計上。

## 【リテール事業部門】

生命保険、銀行、カードローン

<セグメント利益>

(単位：億円)



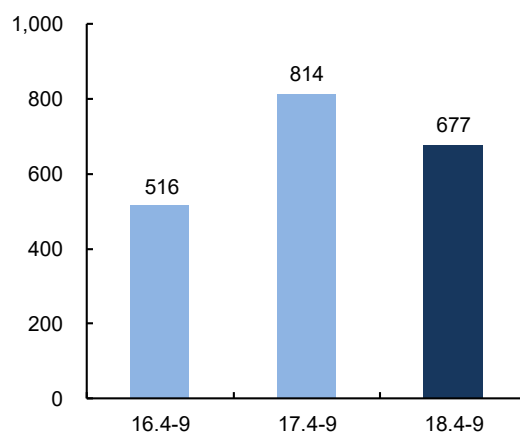
- ・生命保険事業において、保有契約の増加に伴い生命保険料収入が伸長。
- ・銀行事業は、住宅ローンなど営業貸付金の増加に伴い金融収益が増加。
- ・セグメント利益は、前年同期比 14%増の 492 億円を計上。

## 【海外事業部門】

リース、融資、債券投資、アセットマネジメント、航空機・船舶関連

<セグメント利益>

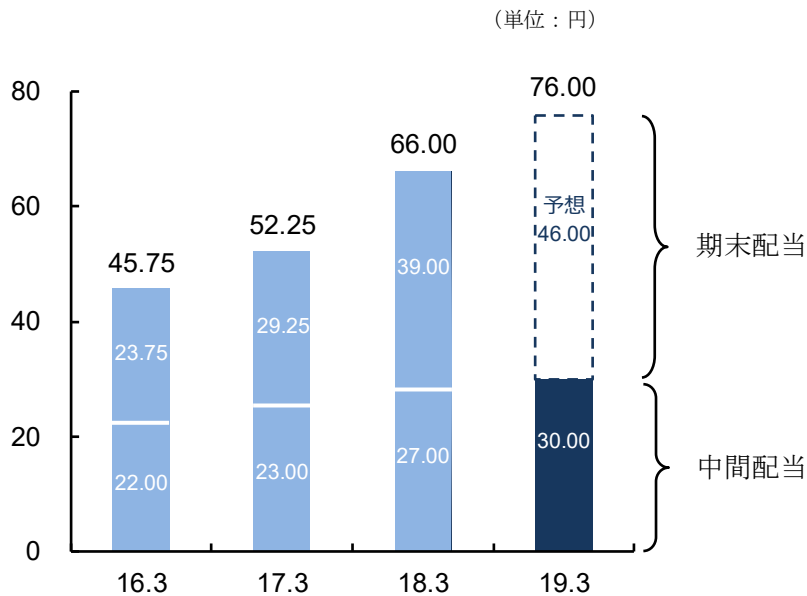
(単位：億円)



- ・米州事業や航空機事業が堅調に推移。
- ・インドの関連会社の損失を計上。
- ・セグメント利益は、前年同期比 17%減の 677 億円を計上。

■ 当期の中間配当金および期末配当性向について

当期の1株当たり中間配当金は、30円とすることを本日開催の取締役会で決議しました。通期配当性向の目安を27%から30%へ引き上げ、通期の1株当たり配当予想額は76円とします。配当の決定にあたっては、利益成長に向けた積極的な投資機会の獲得と安定的かつ継続的な配当との最適なバランスを重視します。



詳細は、当社ホームページにて掲載の決算短信および決算補足資料をご覧ください。

URL : <https://www.orix.co.jp/grp/company/ir/settlement/>

以上

<本件に関するお問い合わせ先>  
グループ広報部 松村・前田・長谷川 TEL : 03-3435-3167